

委員会 レポート

委員会活動として、閉会中に行った所管事務調査の結果内容を、各委員会は第9回定例会において、次のとおり報告しました。

総務文教常任委員会

委員長 橋本晃明

■調査事項 まちづくりの推進について

■調査先 当別町、恵庭市

■調査の結果

【当別町】

当別町は、移住促進事業を自立した行政運営の主要政策と位置付けている。完全移住は18組、35名で、これまでの取り組みとしては、「新規住宅の

固定資産税の3年間減免」、「移住相談のワンストップ窓口」、「官民一体の移住促進協議会設立」、「町独自のおためし暮らし」、「コミュニティバスの運行」などがある。環境・福祉のイメージを大切にしながらまちづくりを推進し、移住促進やコミュニティバスなどの個別の事業に反映、具体化

されている。自然条件が厳しく、町としての植栽は来年度500本の植栽で一区切りをつけ、残りの部分は天然更新で対応していく。

【恵庭市】
「えにわブーケトラス」という制度は、中島市長の「市民活動を支援する1%システム」が実現されたもので、市民活動団体への支援により、活動の活性化、まちづくりへの参加機会の創出、地域コミュニティの活性化を目指す。

事業内容の審査を公募市民が行うなど、市民参加が徹底されている。

■調査事項

①レクリエーションの森整備事業について

②主要建設工事の進捗状況について

③小規模多機能型居宅介護施設について

■調査の結果

①レクリエーションの森の整備は、本年度までに町民植樹祭で約2600本の植栽を行っているが、

②御影東5条道路現道拡幅工事の進捗状況は、下層路盤まで終わっており、この上に上層路盤が施工され、更に舗装が施され完成する。

③本町では、「さくらさくら」が小規模多機能型居宅介護事業を実施している。小規模多機能型居宅介護事業は、「通い」を中心に、要介護者の様態や希望に応じて、随時、「訪問」や「泊まり」を組み合わせたサービスを提供し、在宅での生活が継続できるように支援するもので、同じスタッフが対応することにより、連続性のあるケアを利用できるのが利点である。

産業厚生常任委員会

委員長 森田慎治

新たな

委員会構成

決まる

委員の任期満了により、第2回臨時会において、2常任委員会と議会運営委員会の構成が変更されました。

常任委員会

産業厚生常任委員会		総務文教常任委員会	
委員長	奥秋 康子	委員長	口田 邦男
副委員長	妻鳥 公一	副委員長	西山 輝和
委員	原 紀夫 加末 良明 安田 薫 伊藤 成一	委員	中島 里司 森田 慎治 荒木 篤司
一般事務組合		常設委員会	
西十勝消防組合		議会運営委員会	
議会議員	西山 輝和 口田 邦男 伊藤 成一 田中 勝男	委員長	森田 慎治
		副委員長	加末 良明
		委員	口田 邦男 奥秋 康子 伊藤 成一

閉会中の委員会活動

総務文教常任委員会

◇所管に関する事項について

産業厚生常任委員会

◇所管に関する事項について

議会運営委員会

◇議会の運営とその諸規定について

◇議長の諮問に関する事項について